

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		選挙管理委員会の運営		20年度予算コード	1020301001	整理番号	536	枝番号		
担当部課名	選挙管理委員会事務局	コード	310000	昨年度 整理番号	855・856					
係名		連絡先 電話番号	3803							
上位施策名	No	73	政治意識の高揚と政治参加の促進							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	22 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	選挙管理委員の活動に対し、報酬及び費用弁償を支給することにより、職務遂行を補償する。在外選挙人名簿調製等、法令に基づく事務を適正に行う。選挙管理を行うために必要な情報、連絡を充実させる。				(1) 地方自治法第181条～第194条 (2) 公職選挙法 (3) 杉並区選挙管理委員会処務規程				
	活動指標名(式)	(1) 定例会開催日数 (2) 在外選挙人名簿登録者処理件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 予算執行率(代) (2) 在外選挙人名簿登録事務委託金収入率(対予算)(代)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	回	37	45	39	45	45	86.7		
	活動指標(2)	人	317	300	395	350	250	158.0		
	成果指標(1)	%	92	100	93	100	100	93.3		
成果指標(2)	%	142	100	144	100	100	144.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	15,102	16,665	15,552	17,464	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	63	63	63	1,898				
	職員数(常勤   非常勤)	人	3.00   0.00	4.33   0.00	4.33   0.00	4.33   0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	27,180	39,576	39,576	39,576			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	42,282	56,241	55,128	57,040				
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,142,757	1,249,800	1,413,538	1,267,556				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	490	407	585	466			
特定財源計 +		千円	490	407	585	466				
差引: 一般財源 -		千円	41,792	55,834	54,543	56,574				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	委員報酬		52	人	13,767					
	委員費用弁償		216	人	349					
	全国市区選挙管理委員会連合会等経費		8	件	182					
	普通旅費		47	人	143					
その他 (交際費・管理事務費)		1	式	1,111						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 536 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	86.7	活動指標(2)の 19年度達成率%	131.7	19年度予算 執行率%	93.3
		H18の委員費用弁償の制度改正により、実費相当額の支給となったことで執行額が大幅に減少した。在外選挙人名簿の登録は本人からの申請によるため、国政選挙の有無等により処理件数は変動しやすい。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成21年5月21日より裁判員制度が実施されるが、裁判員候補予定者は選挙人名簿から選定することになっており、20年度はその準備として選定用システム構築や、機器の賃借・保守が必要であることから、予算額が増額した。また、今年度は予定されている選挙がないため、選挙システムサーバ機の保守等、選挙の有無に係らず必要な選挙時の事務事業費については、本事業で予算計上している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	多様化するニーズに合わせた投票環境の向上のため、投票時間の延長や在外選挙制度の導入、期日前投票制度の創設等の制度改正を行い、選挙人の利便を図っている。在外選挙人名簿登録調製事務については、登録者数は近年増加傾向にあるが、H18の在外選挙制度の改正によりさらに関心が高まっており、現在の杉並区での登録者数は1,600名を超えている(23区で2番目)。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年、選挙人名簿登録者数の増加により、一部の投票所において、選挙人から投票受付に長蛇の列ができて待たされ、不便である等の声がある。					
	今後の予測	更なる投票環境向上のため、公職選挙法の改正が予定されている。また、上記の理由による投票区の分割を検討する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 選挙管理委員会は公正な選挙を行うための執行機関であり、適正な運営は必要不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 公正な選挙の管理・執行の実現は、法令に基づき行われるものであり、成果を向上させる性質のものではない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 選挙管理委員会運営において、また、選挙人名簿登録等、法律上当然に行う事務であり、受益者負担は存在しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 委員の報酬・費用弁償等、必要経費は固定的である。また、本事業は公正な選挙を実現するために選挙管理委員会事務局として必要な一般管理を行っているものであり、大幅なコスト削減の余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	選挙管理委員会の設置・運営は法定事項であるため。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 統合内部情報システムの活用により、委員会運営においてもさらなる事務改善を行い、定型業務の効率化を進めていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 選挙管理委員会は独立行政委員会であるため、区長部局とは異なった流れで事務処理を行わなければならないこともあり、電算化できない事務も発生しているが、事務処理方法を見直しながら更なる効率化を検討する。 事務局一般管理については、選挙時と通常時の繁忙の差が大きく、人員の配置もその都度変わるため継続的な改善が難しいが、事務の見直しや効率化について検討を進めていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 選挙管理委員会運営に必要な経費であり、これまでも経費節減に努め、適正な予算の執行管理が行われている。統合内部情報システムを活用しながら、行政委員会としての事務改善を検討する必要がある。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		選挙に関する常時啓発活動		20年度予算コード	1020302001	整理番号	537	枝番号	1		
担当部課名	選挙管理委員会事務局	コード	310000	昨年度 整理番号	857～860						
係名		連絡先 電話番号	3804								
上位施策名		No	73	政治意識の高揚と政治参加の促進							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	21 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等							
	主に区内在住の一般有権者			(1) 公職選挙法第6条・第261条の2 (2) 公職選挙法施行令第133条～137条 (3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 政治や選挙への意識を高揚させることを目的とし、特に若年層の投票率向上に力を入れて活動している。また、選挙違反などを排し、選挙が公明かつ適正に行われるよう活動している。			事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図り、投票への参加を促す。							
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 話しあいの会参加延べ人数			(1) 区議会議員選挙における20歳代投票率								
(2)			(2) ポスターコンクール応募作品数								
区分		単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%			
指標	活動指標(1)		名	2,376	5,000	2,606	3,500	5,000	52.1		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	19	30	20	30	30	68.2		
	成果指標(2)		点	311	350	241	400	400	60.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,904	4,197	3,407	3,923	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.80	1.50	1.50	1.50	成果指標(1) 18年度実績欄は、前回(平成15年)の区議会議員選挙の数値 20年度計画欄は、次回の区議会議員選挙の目標数値			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,308	13,710	13,710	13,710				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	19,212	17,907	17,117	17,633	成果指標(2) 応募作品数は、18年度に比べて19年度は70点減少したが、応募校数は11校増加した。			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	8,086	3,581	6,568	5,038				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	19,212	17,907	17,117	17,633					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			新成人等啓発資材パンフレット一式				4,859	枚	363		
			話しあいの会等推進委員謝礼				199	回	438		
			ポスターコンクール記念品等				418	個	193		
			常時啓発資材(ゴミ袋2枚入り)				12,000	組	522		
			その他 ( )						1,891		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 537 校番号 1

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	52.1	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	81.2
	・明るい選挙推進活動の指標として、話しあいの会の開催回数を上げているが、推進活動はそれだけではなく、報告書の数値では測定できない部分がある。しかし、115名の推進委員の中には平成19年度中、1度も話しあいの会を持たない委員が半数以上もあり、開催に際しての助言が必要とされている。 ・平成14年度から区立中学3年生用副読本を作製し配布を行っているが、平成19年度は、副読本を東京都で作製したため、本区では作製・配布を行わなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成19年4月8日執行の東京都知事選挙及び平成19年4月22日執行の杉並区議会議員・杉並区長選挙において、投票日等の周知及び棄権防止等のため街頭啓発を実施するにあたり、「ゆう杉並」の中・高校生運営委員と協働し、啓発資材の配布と投票の呼びかけを行った。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当初は区民の生活と政治及び選挙の関わりや仕組み等、明るい選挙の理解を深め実現していくことであったが、現在では、政治や選挙に対する意識の高揚を中心とし、特に若年層の投票率の向上に力を入れ活動している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・啓発資材を活用して、新たな話しあいの会の活動を持つことができた等、啓発資材が活動に役立つとの意見がある。 ・明るい選挙推進委員のあり方や活動内容について、あまり理解されていない。明るい選挙推進委員の活動を広く紹介してほしい。との要望がある。
	今後の予測	近年の低投票率の背景には、若年層の選挙への無関心さなどが指摘されるが、今後この状況は継続すると思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 区民の意思が政治に反映され、住み良いまちづくりへとつながっていく。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容: 本事業の目的は、第一義的には「投票参加」「明るい選挙の実現」であり、究極的には、国民の政治意識の向上が不可欠であるが、短期的で政治意識の高揚を目指すことは困難である。
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 特に若年層の政治への無関心が顕著となっており、政治意識を醸成する取り組みを有権者のみならず、未成年者へも拡大して行う必要がある。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 本事業の実施に伴う直接的な受益者負担が発生しないため。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: もともと明るい選挙推進活動は、民間ボランティアによる活動である。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 1度も話しあいの会を持たない推進委員への助言と、1年を通じて選挙執行の有無に関わらず、あらゆる機関、団体等の協力を得て啓発活動を展開する必要がある。特に若年層の政治意識の向上を図るため、未成年者をも含めた活動への参加誘導を進める。
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・啓発活動の一部に学生等の未成年者を含めた若年者を誘導し、活動を通じて政治参加の現況や選挙の重要性を認識してもらい、若年層の政治意識の向上を図る。 ・ポスターコンクール作品募集は、出品希望者に画用紙の配布をする。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学生の積極的な参加については、本務である学業(学校)との時間の両立と、活動参加への動機付けが困難であり、大きな阻害要因と考えられる。しかし、ボランティア活動等を通じて社会参加に意欲を持つ学生もあり、こうした学生等にボランティア活動の場としてアプローチすることが考えられる。	
	(1) 21年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区のHPや広報、チラシ等で、バースディカードの内容や寄附禁止等の選挙啓発に関する記事をわかりやすく掲載することで、現状予算の範囲内で実績を上げていく。	

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地方選挙			20年度予算コード	整理番号	537	枝番号	2		
担当部課名	選挙管理委員会事務局	コード	310000		昨年度 整理番号	861					
係名		連絡先 電話番号	3802								
上位施策名		No	73		政治意識の高揚と政治参加の促進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	選挙人、候補者等		根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	・平成19年4月8日執行 東京都知事選挙 ・平成19年4月22日執行 杉並区議会議員選挙・杉並区長選挙		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公明・適正な選挙の執行により、選挙人の意思が正しく反映されるようにする。							
	活動指標名(式)	(1) 投票所数(期日前投票所を含む) (2) 選挙人数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区議会議員選挙の投票率 (2) 区議選の時間当たりの開票処理票数							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	所	79	79	79	0	79	100.0			
	活動指標(2)	人	453,721	451,398	453,721	0	453,721	100.0			
	成果指標(1)	%	40	50	42.1	0	50.0	84.2			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	37,785	380,102	360,044	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	4,998	0	0	0					
	(内) 委託費	千円	2,541	6,792	35,089	0					
	職員数(常勤   非常勤)	人	5.52	2.60	4.35	0.00	・本事業は区議会議員選挙、区長選挙、都議会議員選挙、都知事選挙を執行する事業である。 ・成果指標(1)「投票率」は、選挙の争点や候補者の知名度・人気等によって大きく上下することが、世論調査の結果等からはっきりしている。また、一般的に投票率は、投票日の日程や天気にも左右されるといわれており、投票所の環境整備や啓発活動の成果が直接的に反映されるものではない。 ・成果指標(2)「処理票数」は単に時間のみを考えるのではなく、正確性の確保を前提として行う。 ・成果指標(1)、(2)の平成18年度欄は前回の区議選(平成15年)の数値である。				
	人件費	千円	50,011	23,764	39,759	0					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	87,796	403,866	399,803	0					
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,048,076	5,112,228	5,060,797						
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	62,340	67,839	104,413					
特定財源計 +		千円	62,340	67,839	104,413	0					
差引:一般財源 -		千円	25,456	336,027	295,390	0					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	投票所経費(65所×2回)		130	所	106,255						
	開票所経費(1所×2回)		2	所	15,311						
	期日前投票・不在者投票(14所×2回)		28	所	43,570						
	ポスター掲示場設置(515所×3種)		1,545	所	88,542						
その他 (選挙人名簿事務、選挙啓発事務)		1	式	106,366							

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 537 枝番号 2

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.5	19年度予算 執行率%	94.7
		2選挙の執行にあたり、できる限りの節減に努めた。また、予算規模に比べて区議、区長選挙の候補者が少なかったため、公費負担の予算に残が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープ設置等による段差解消を進めた結果、バリアフリー化はほぼ100%達成できている。</li> <li>・投票所の設営・撤去の委託化を推進している。</li> <li>・開票事務への投票用紙読取機の導入や人材派遣の導入を検討している。</li> </ul>					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	期日前投票制度、郵便投票制度等が創設・拡充され、年々投票しやすいしくみとなっている。また、区では、投票所の入口だけでなく出口にもスロープを設置するなど投票所のバリアフリー化を進めてきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	投票区変更の要望、「選挙のお知らせ」の表記の改善等、投票環境の向上に関する要望がある。					
	今後の予測	区内の人口が増加傾向にあり、今後、投票所の混雑等が予想される。混雑解消に向けた対応が課題となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 選挙は区民の政治参加の最たる手段である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 意見要望を参考に投票所施設の改善を図る等して、投票環境の向上を推進する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 憲法に国民の権利として普通選挙が定められている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 現在、投票所の設営等を民間委託している。今後、は更に選挙事務の委託化を進める。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 明るい選挙推進協議会、明るい選挙推進委員と協働して選挙時啓発を行っている。また、投票管理者及び投票立会人については、各地区の町会や明るい選挙推進委員の中から選出し、一部の投票所では新成人の投票立会人を選任している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・有権者数の増等に伴い、投票所の増設や、投票区域の変更等、対応を検討する。 ・選挙事務のさらなる協働化・民間委託化を推進する。 ・事務処理に誤りがないよう、チェック機能を設けるなどの予防を講じる。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 選挙事務の協働化・民間委託化を進めるにあたっては、公正で正確な選挙執行に十分に配慮して、慎重に検討していく必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 21年度は都議会議員選挙が予定されており、開票事務の迅速化のため、投票用紙読取機などの導入を予定している。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		参議院議員選挙			20年度予算コード	整理番号	537	枝番号	3	
担当部課名	選挙管理委員会事務局	コード	310000		昨年度 整理番号					
係名		連絡先 電話番号	3802							
上位施策名		No	73		政治意識の高揚と政治参加の促進					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	選挙人、候補者等		根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	平成19年7月29日執行 参議院議員選挙			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 参議院議員選挙を公明・適正に執行し、選挙人の意思が正しく反映されるようにする。					
	活動指標名(式)	(1) 投票所数(期日前投票所を含む) (2) 選挙人数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 参議院議員選挙の投票率 (2) 時間当たりの処理票数					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%		
	活動指標(1)	所	0	79	79	0	79	100.0		
	活動指標(2)	人	0	454,704	454,704	0	454,704	100.0		
	成果指標(1)	%	0	0	56.7	0	60.0	94.5		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	175,208	164,380	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	0	20,197	21,749	0				
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.00	5.36	5.36	0.00	・成果指標(1)「投票率」は、選挙の争点や候補者の知名度・人気等によって大きく上下することが、世論調査の結果等からはっきりしている。また、一般的に投票率は、投票日の日程や天気にも左右されるといわれており、投票所の環境整備や啓発活動の成果が直接的に反映されるものではない。 ・成果指標(2)「処理票数」は単に時間のみを考えるのではなく、正確性の確保を前提として行う。			
	人件費	千円	0	48,990	48,990	0				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	0	224,198	213,370	0				
	単位あたりコスト( - )÷	円		2,837,949	2,700,886					
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円		164,376	174,721				
特定財源計 +		千円	0	164,376	174,721	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	59,822	38,649	0				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)		
	投票所経費					65	所	60,166		
	開票所経費					1	所	16,166		
	期日前投票・不在者投票					14	所	24,192		
	ポスター掲示場					515	所	28,566		
	その他 ( 選挙人名簿事務、選挙啓発事務等 )					1	式	35,290		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 537 枝番号 3

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	93.8
		参議院議員選挙執行にあたり、経費の節減に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープ等を設置し、段差解消を進めた結果、投票所のバリアフリー化は、ほぼ100%達成できている。</li> <li>・投票所の設営・撤去の委託化を推進している。</li> <li>・選挙事務の協働化・民間事業化を推進しており、開票事務に人材派遣を導入した。</li> </ul>					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	期日前投票制度、郵便投票制度、在外選挙人制度が創設・拡充され、年々投票しやすいしくみとなっている。また、区では投票所の入り口だけでなく出口にもスロープを設置するなどの投票所のバリアフリー化を進めており、ほぼ100%達成している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	投票区変更の要望、「選挙のお知らせ」の表記の改善等、投票環境の向上に関する要望がある。					
	今後の予測	区内の人口が増加傾向にあり、今後、投票所の混雑等が予想される。混雑解消に向けた対応が課題となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 選挙は区民の政治参加の最たる手段である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 意見要望を参考に投票所施設の改善を図る等して、投票環境の向上を推進する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 憲法に普通選挙が定められている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 現在、投票所の設営等を民間委託している。今後、は更に選挙事務の委託化を進める。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策): 明るい選挙推進協議会、明るい選挙推進委員と協働して選挙時啓発を行っている。また、投票管理者及び投票立会人については、各地区の町会や明るい選挙推進委員の中から選出し、一部の投票所では新成人の投票立会人を選任している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・有権者数の増等に伴い、投票所の増設や、投票区域の変更等、対応を検討する。 ・選挙事務のさらなる協働化・民間委託化を推進する。 ・事務処理に誤りがないよう、チェック機能を設けるなどの予防を講じる。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 選挙事務の協働化・民間委託化を進めるにあたっては、公正で正確な選挙執行に十分に配慮して、慎重に検討していく必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 21年度は任期満了に伴う参議院議員選挙の執行予定はない。		